



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月7日
東

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所
 コード番号 5271 URL <https://www.toyoasano.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 泰右
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 敏彦 (TEL) 055-967-3535
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	12,979	9.3	△69	—	△62	—	△10	—
2021年2月期第3四半期	11,876	20.4	216	28.9	199	24.0	86	△2.6

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 △3百万円(—%) 2021年2月期第3四半期 111百万円(12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△7.75	—
2021年2月期第3四半期	67.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	18,248	3,416	18.3
2021年2月期	16,877	3,484	20.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 3,345百万円 2021年2月期 3,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年2月期	—	25.00	—		
2022年2月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.5	240	△21.2	220	△25.6	140	△12.7	108.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年2月期3Q	1,440,840株	2021年2月期	1,440,840株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	145,194株	2021年2月期	145,124株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年2月期3Q	1,295,667株	2021年2月期3Q	1,295,716株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が断続的に発生していたなか、ワクチン接種の普及もあり感染状況は一時沈静化の動きがみられました。一方で、海外の一部地域で感染再拡大が見られるほか、新たな変異株が確認されるなど予断を許さない状況が続き、経済情勢は依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業分野であります建築業界におきましては、景気回復にあわせて、建設需要も回復基調が続くものと見込まれますが、足元の受注競争は依然として大変厳しい状況にあります。景気および建設受注の回復が、当社の景況感の改善に波及してくるまでには、まだ時間を要するものと見込んでおります。

当社グループの事業分野でありますコンクリートパイル事業におきましては、全国需要は前年同期に対して横ばい圏内となりました。当社の主力商圏であります関東および静岡におきましては、関東・静岡ともに小幅な増加となりました。コンクリートパイルの需要量は、昨年度および一昨年度が大変厳しい状況にあったことを踏まえ、需要の量的水準は、横ばい圏内の当連結会計年度も大変厳しい状況が継続しております。

また、コンクリートセグメント事業につきましては、当連結会計年度の初めより大型物件の製造を開始し、計画通りに進捗しておりますが、全国的に需要が減退するなか、採算性が非常に厳しい状況が続いております。

不動産賃貸事業につきましては、静岡県沼津市で賃貸しているショッピングセンターが、7月の記録的な大雨に見舞われましたが、ショッピングセンターの迅速な対応により事業上の被害は軽微であり、以降、安定した収益で推移しております。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

①コンクリート二次製品事業

コンクリート二次製品事業の主力事業でありますコンクリートパイル部門につきましては、当社の主力商圏である関東および静岡は、ともに小幅な増加となりました。このような状況において、当社は積極的な営業活動を展開し多くの受注を確保しておりますが、当初想定よりも市況品等の原材料価格が上昇したことや、超繁忙期に対応するための人件費・製造経費等が大幅に増加した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,466百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益は192百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

②コンクリートセグメント事業

当連結会計年度の初めより大型物件の製造を開始し、計画通りに進捗しておりますが、全国的に需要が減退、採算性が非常に厳しい状況が続いているなか、コスト構造の徹底的な見直しを行い、収益の確保に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,428百万円（前年同四半期比18.6%増）、営業損失は5百万円（前年同四半期は0百万円の損失）となりました。

③工事業

当第3四半期において、第2四半期からの持越し物件は順調に完工しておりますが、第2四半期からの継続物件に加えて新規着工物件も非常に多く一時的に極めて繁忙な状況となりました。そのため、一部の大型物件の完工が第4四半期にずれ込んだ等の要因により、利益計画が当初計画を下回った結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,936百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は169百万円（前年同四半期比47.5%減）となりました。

④不動産賃貸事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は146百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は99百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,979百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業損失は69百万円（前年同四半期は216百万円の利益）、経常損失は62百万円（前年同四半期は199百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10百万円（前年同四半期は86百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,371百万円増加して18,248百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が546百万円、未成工事支出金が552百万円、建物及び構築物が499百万円増加し、現金及び預金が99百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、1,439百万円増加して14,832百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が929百万円、長期借入金が1,369百万円増加し、短期借入金が438百万円、電子記録債務が76百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて67百万円減少して3,416百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年9月29日公表の通期の業績予想に変更はありません。今後、新型コロナウイルス感染症拡大などが当社グループへ影響を及ぼし、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,580,563	2,481,184
受取手形及び売掛金	3,133,111	3,679,735
電子記録債権	842,170	763,868
商品及び製品	528,368	622,223
原材料及び貯蔵品	196,779	273,725
未成工事支出金	306,961	859,411
その他	67,073	245,957
流動資産合計	7,655,028	8,926,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,257,246	1,756,756
土地	4,884,384	4,964,446
その他(純額)	1,796,176	1,280,046
有形固定資産合計	7,937,807	8,001,248
無形固定資産	192,999	193,712
投資その他の資産		
投資有価証券	352,162	331,545
その他	744,796	801,868
貸倒引当金	△5,525	△5,525
投資その他の資産合計	1,091,433	1,127,888
固定資産合計	9,222,239	9,322,849
資産合計	16,877,268	18,248,956
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,328,719	4,258,607
電子記録債務	2,362,461	2,286,299
短期借入金	2,663,365	2,224,828
未払法人税等	105,549	26,269
賞与引当金	-	59,359
その他	998,267	743,550
流動負債合計	9,458,363	9,598,914
固定負債		
長期借入金	2,971,064	4,340,706
退職給付に係る負債	430,585	456,614
その他	533,089	436,475
固定負債合計	3,934,739	5,233,795
負債合計	13,393,103	14,832,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	720,420	720,420
資本剰余金	706,858	706,858
利益剰余金	2,302,497	2,227,678
自己株式	△106,650	△106,772
株主資本合計	3,623,125	3,548,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,872	11,171
退職給付に係る調整累計額	△222,479	△214,175
その他の包括利益累計額合計	△209,606	△203,004
非支配株主持分	70,646	71,066
純資産合計	3,484,165	3,416,247
負債純資産合計	16,877,268	18,248,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	11,876,554	12,979,005
売上原価	10,296,111	11,559,809
売上総利益	1,580,443	1,419,195
販売費及び一般管理費	1,363,580	1,489,168
営業利益又は営業損失(△)	216,863	△69,972
営業外収益		
受取利息	628	940
受取配当金	11,056	9,286
受取保険金	-	19,498
その他	19,372	22,869
営業外収益合計	31,057	52,595
営業外費用		
支払利息	43,345	42,558
その他	5,298	2,679
営業外費用合計	48,643	45,238
経常利益又は経常損失(△)	199,277	△62,615
特別利益		
固定資産売却益	-	41,793
投資有価証券売却益	-	18,444
特別利益合計	-	60,238
特別損失		
固定資産売却損	-	121
固定資産除却損	-	0
投資有価証券評価損	21,098	-
特別損失合計	21,098	121
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	178,179	△2,498
法人税、住民税及び事業税	91,249	7,155
法人税等合計	91,249	7,155
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,929	△9,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	380
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	86,917	△10,035

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,929	△9,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,457	△1,701
退職給付に係る調整額	8,707	8,343
その他の包括利益合計	24,165	6,642
四半期包括利益	111,095	△3,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,946	△3,432
非支配株主に係る四半期包括利益	149	420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	5,639,854	1,205,096	4,886,184	145,419	11,876,554	—	11,876,554
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	77,141	—	—	23,404	100,545	△100,545	—
計	5,716,996	1,205,096	4,886,184	168,823	11,977,100	△100,545	11,876,554
セグメント 利益又は 損失(△)	243,900	△375	322,989	103,039	669,553	△452,690	216,863

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△452,690千円には、セグメント間取引消去17,144千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△469,835千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益又は損失の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	6,466,855	1,428,720	4,936,955	146,473	12,979,005	—	12,979,005
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	110,252	16,069	—	20,136	146,458	△146,458	—
計	6,577,108	1,444,789	4,936,955	166,609	13,125,463	△146,458	12,979,005
セグメント 利益又は 損失(△)	192,000	△5,365	169,518	99,278	455,432	△525,404	△69,972

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△525,404千円には、セグメント間取引消去25,926千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△551,331千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益又は損失の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。